

○松田さんは、ほろびてしまった動物について調べ、松田さんがみつけた次の【説明文A】【説明文B】

を発表することになっています。を読んで、あとの問いに答えましょう。

【説明文A】

ロンサム・ジョージという名前を聞いたことがあるだろうか。日本語に直せば「ひとりぼっちのジョージ」という意味になる彼は、世界で最も有名なカメの頭である。

エクアドル共和国のガラパゴス諸島の中に、ピンタ島がある。ここにすむピンタゾウガメは、一九一〇年代には一頭残らずほろびたとされていた。ところが、一九七一年になって、突然ピンタゾウガメが発見されたのである。ピンタ島にずっとすんでいたにもかかわらず、六十年の間、だれの目にもふれなかったことになる。のちにジョージと名づけられるこのカメは、人間を見かけると、急ぎ足で茂みの中に隠れようとしたという。人間を見ても平然としているのが普通のゾウガメだから、これはかなり異質な行動だ。

ジョージの行動には理由がある。

一五七〇年にガラパゴス諸島が世界地図で紹介されると、ゾウガメの楽園だったこの島々をおびやかす深刻な問題が起きた。航海技術が発達させた人間たちが次々とやってきたのである。

当時のガラパゴス諸島には、少なくとも十五種類のゾウガメがすんでいた。大きなものになると三百キログラムをこえる体の中には、水と肉、そして脂がたくわえられていた。それでいて人間をおそれず、動きがにぶいこの巨大なカメは、船乗りたちにはとても魅力的な食料だった。

ガラパゴスのゾウガメたちは、たちまち狩られることになった。一説には数十万頭もいたとされるゾウガメたちは、四百年あまりで数千頭にまで激減した。

ピンタゾウガメも例外ではなかった。ジョージは、仲間が次々と狩られていく様子を少なくとも目撃したものと考えられる。人間が敵だと学習していたからこそ、彼は茂みの中に隠れようとしたのである。

ゾウガメの寿命は、最大で百五十年とも二百年近くとも言われている。動物全体を見渡しても大変な長寿だ。

現在、ジョージは推定百才前後である。ピンタゾウガメただ一頭の生き残りとして、彼はこれからさらに五十年以上を生き延びていくことになる。

だが、彼に名をつけたのか、正確な記録はない。だが、「ロンサム・ひとりぼっち」と名づけられたジョージの孤独を思うとき、私たちは過去のあやまちを重く受け止め、二度とくり返さないようにと決意を固めるのである。

【説明文B】

トキは、つい百年ほど前まで、それほどめずらしい鳥ではなかった。むしろ、日本全国であたり前に見られる鳥だったといっている。ところが、二〇〇三年に国内最後の一羽が死に、日本のトキはほろびてしまった。

江戸時代の記録を見ると、トキは害鳥だと考えられていたことが分かる。この鳥は水辺のドジョウやカエル、虫などを好んで食べる。田んぼは絶好のえさ場だった。つまり、稲の苗をふみあらすために、トキは嫌われたのである。

また、肉が薬になるという迷信や、薄桃色の羽が美しかったことも、トキにとって不幸だった。明治時代に鉄砲が広く使われるようになって、トキは次々に狩られ、大きく数をへらしていった。

大正時代末の一九二五年には、国内のほとんどの地域で、トキの姿は見られなくなったという。トキの不幸は、これだけでは終わらなかった。

一九五〇年ころの田畑では、農薬が大量に使われるようになった。水がよごれたことで、ドジョウをはじめとするエサがへってしまった。トキを守る取り組みは始められていたが、トキがくらす環境は守られなかったのである。

野生のトキがわずかに五羽になったのは、一九八一年のことだ。生き残ったトキたちはすべてがとらえられ、保護センターに送られた。このほろびかけている鳥を、人間の手で増やそうと考えたのだ。

しかし、さまざまな努力も、トキのほろびを止めることはできなかった。わずかに百年ほどのあいだに、\*「ニッポニア・ニッポン」という別名をもつこの鳥は、日本の空から姿を消したのである。

現在、新潟県の佐渡市では、トキの野生復帰プロジェクトが進んでいる。

中国でわずかに生きのびていた野生のトキをゆずり受け、現在では百羽をこえるまで増やすことに成功した。

また、二〇〇八年からは、佐渡の空にトキを放鳥するころみが始まった。これは、トキがくらしでいける状態まで環境を回復させた人々の情熱がもたらした成果でもある。

このままプロジェクトが順調に進めば、いつの日にか、日本の空にふたたびトキがもどってくるかも知れない。

しかし、佐渡の空に、日本の空にトキがもどってきたとしても、その喜びとは別に、私たちはトキを失った歴史の悲しさを忘れてはならないのである。

\*「ニッポニア・ニッポン」 国際的に通用する、トキの名称。学名。

「日本属・日本」という意味になる。

つまり、トキは「日本」の名をもつ。

